

\*\*\*\*\*  
\*\*\*\*\*  
平成17年度第4回音環境運営委員会 議事録  
\*\*\*\*\*  
\*\*\*\*\*

- A. 日 時 平成17年12月8日（木） 17時00分～19時30分  
B. 場 所 建築会館304室  
C. 出席者 平松友孝、井上勝夫、岩瀬昭雄、大鶴徹、赤尾伸一、河井康人、  
岸永伸二、佐久間哲哉、坂本慎一、佐藤哲身、中澤真司、羽染武  
則、

吉村純一、中川清、安岡博人、古賀貴士  
欠席者 濱田幸雄、福地智子、藤本一壽、吉久光一 （敬称略）

D. 提出資料

- No.4-0 第四回音環境運営委員会 議事次第  
No.4-1 平成17年度第3回音環境運営委員会議事録（案）（古賀）  
No.4-2-1 日本建築学会 音環境運営委員会委員会 委員名簿  
No.4-2-2 音環境運営委員会関連委員会 委員名簿  
No.4-3 2005年度第4回環境工学本委員会議題(抜粋)  
No.4-4 2006年度委員会活動計画案  
No.4-5 小委員会の自己点検・自己評価方法に関する提案  
No.4-6 環境工学教材改訂に関するアンケート調査  
No.4-7 「学校施設の音環境保全規準」早期発表のお願いの件  
No.4-8 「討論会-学術・技術の現場と音響数値解析ベンチマークプラット  
フォーム」実施計画書（大鶴）  
No.4-9 日本音響学会騒音振動研究会 今後の予定  
No.4-10 日本音響学会建築音響研究会 活動報告

E. 審議事項

1. 前回議事録確認  
・赤尾委員は出席に修正のこと
2. 本委員会報告(資料4-3)  
・2005年大会報告。会場あたりの参加人数・PC利用状況等詳細なデータが報告され  
ている。会場あたりの参加者数は環境が一番多い(1251題、3673名)。  
・2006年大会は、9/7～9/9神奈川大学で開催。4/10紙面投稿締切、4/16電子投

稿締切。

音環境では細分類の変更なし。研究協議会：環境設計・評価のアカウントビリティ(説明性)に関する内容を検討中。OS主旨タイトルの確認。

- ・事業計画：運営委員会、小委員会、WGの設置申請は11月のみに限られる。
- ・シンポジウム 都市型環境振動対策(環境振動運営委) 1/24開催
- ・委員委嘱
- ・予算 数値解析小委員会の予算の残額については音運営委員会の裁量に任せる。

### 3. 2006年度 活動計画案について(資料4-4)

各委員会主査より計画案の説明があり、承認された。

予算については、各委員会によって計上根拠が異なるため今後調整する。

### 4. 小委員会の自己点検・自己評価方法(資料4-5)

・旧環境工学シンポジウムは廃止。自己点検評価の審査を兼ねた活動報告界の形で開催されることとなった。

活動成果を上手に活用するように整理することが目的ではないか、「成果の挙げた委員会」の報告ではなく、休眠中の委員会を活性化するのが目的ではないのか、委員会数が50近くあるのに全てやり切れるのか、などの意見が出された。活動計画に対する達成度評価という形になるのではないかと(井上委員)。

意見があれば、平松主査にメール

### 5. 環境工学教材アンケート

具体的な目次案についてのアンケートが来ている。音環境については、当該委員会に対して、佐久間先生・坂本先生を推薦していることもあり、両先生に一任する。意見があれば両先生にメールをしてほしい。

### 6. 「学校施設の音環境保全規準」早期発表のお願いの件(資料4-7)

適切な吸音工事がなされないままアスベスト除去工事だけが進む状況を回避したいという理由で音響材料協会から依頼が来ている。解説書作成作業のWGは19年3月まで設置予定だが、作業は前倒しで予定している。前向きに考えた方が良い問題ではあるが、ひとまずスケジュールを報告することで回答とする。

### 7. 小委員会・WG活動報告

- ・数値解析(大鶴) 12/9開催予定。3/13の公開討論会に向けた準備をしている。
- ・集合住宅(羽染) 10/21開催。赤本のアカスタ化や学会の裁判事例についての実情を議論している。
- ・固体音(平松) 11/13三井住友建設箱型実験室にて子供の歩行音収録。これが

ら聴感実験を実施する。ボールの評価についてWGで作業を進めている。RC造のデータは集まってきているが木造のデータが少ない。

・測定法(赤尾) 11/28開催。インピーダンス：解析法について検討中。今後ボイドスラブを対象として検討を進める予定。等価吸音面積：マニュアル作成に向けて作業中。短時間測定法：ISO10052に関連した実験室測定を実施予定。

・室内音響(岸永) 劇場計画小委員会とのジョイントを考えている。教育に関しての議論を継続中。毎回実施している「持ち回りプレゼン」が好評である。

・企画広報(中川) 活動計画の通り。

・アカスタ(佐久間) 次回を2月か3月に予定。もう少し具体的なイメージを詰めていきたい。

## 8. 今後のシンポジウム・見学会等

音響学会・建築音響研究会の韓国開催(10月)は56名参加。盛況の下に終了した。

1/18 兵庫県立文化会館見学会 (12/8現在81名の申込。早めに参加手続を。)

3/13 数値解析小委員会 討論会 (建築学会単独開催)

3/14 音響学会・カザルスホールの音響設計・パイプオルガン(音響学会・1日目夜)

次回予定 2006年2月9日 17:00～ 建築会館会議室

次々回予定 2006年4月7日(金) 17:00～